

若い世代の新たな明るい未来

フンジンク

留学生として日本へ来て、もうすぐ一年半
になります。この一年で、たくさんの人に会
い、友達になりました。言葉から文化、習慣
に至るまで日本人に親切に教えてもらいまし
た。おかげで様々な知識を得ました。日本に
来て本当に良かったと思います。

留学生にとって一番むずかしいのはコミュ
ニケーションだと思います。しかし、心を込
めて、相手の立場になって考えると誤解を招
かないことを実感しました。

中国と日本は一夜帯水の隣国ですから、中
日関係が新しい方向に進んでいくことを望ん
でいます。日本には「信なくば立たず」とい
う言葉があります。信頼を得るには、相手の
考え方や気持ちを理解しなければならぬと
いう意味です。この言葉は今の両国にと、と
とも大切なだと思います。

私はある時、日本人の若い友達に「中国で

最先端の技術なども共同で開発できなくなっています。このような状態が続くと、さらに様々なところに影響が出てきます。大変なことが起きているのに、何もしなくて、本当にいいのでしょうか。私はどうして現在のようにな状況にな、たのが、中国からの留学生として日中交流の「橋」になり、何か役にたてることはなりのかと真剣に考えています。

中日両国には二千年以上にわたる交流の歴史があります。両国の交流は早くも隋の時代に本格的に始まり、唐で盛んになり、遣隋使、遣唐使によ、て、非常に深ま、たといます。

しかし、最近数年は両国の関係は悪化しています。歴史上不快な記憶があるとは言え、変化を続ける現在の世界では過去や先入観にとらわれずに、前を向いて行かなければなりません。平和は世界共通の願いであり、中日両国国民にと、ても心からの願いであることに変わりはありません。グローバル化が進むにつれて、世界はますます一体化し、運命共

同体のようにな、てきてります。ですから、
将来中日関係が現在より緊密になるように努
力するべきだと思ひます。

そのためには兩國の若い世代がお互いに交
流し、理解しあうことが何よりも必要なこと
です。これからの世界は、いづれ私たち若者が
作るものだからです。若い世代が偏見を捨て
去り、理解しあえば、中日兩國の未来は、
とも、と明るい方向に向か、ていくはずで
す。なんとい、ても若い人のほうが新たなもの
に対して、柔軟に受け入れやすいからです。

その面、で、努力し続ける一方、で、若い世代
に中日関係について違、う角度から考えとせる
ことが必要です。

留学生はその役にたてるのではな、り、でし
うか。私は去年から枚方市で中国語サロンの
ボランティアを、して、ります。ここで日本語を
勉強しながら、中国に興味を持、て、いる日本
人に中国語や中国の文化などを教、え、て、ります。
彼らの笑顔を、見ると本当に嬉、しく、て、達成感

を感じます。ボランティア活動だけではなく、
街で日中友好協会のパンフレットをくばり、た
り、スピーチコンテストに出たりしたことは
勉強になりました。本当によか、と思います、こ
います。

留学すれば、必ず若者同士が出会い、彼ら
が作るその小さな友情は両国の友好に明るい
未来をもたらす、良き関係を築き、確かな力
になるはずです。私は中国の留学生として、
も、と両国の人にお互いの国のことを伝えたい
りです。中国と日本の友情の輪が広がり、永
遠に続くように頑張ります。